

事業報告書

事業年度

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

法人名 公益社団法人 心の里親会・奨学会

事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公1 児童養護施設で生活する児童への支援

1 文通事業

児童養護施設で生活する子どもたちを励ます目的で、札幌市及びその近隣市町村に所在する児童養護施設の子どもたちと文通し、実施に当たり必要な研修を次のとおり行った。

- 1) 文通を希望する子どもたちと会員が、1対1で、平均1ヶ月1回文通した。
令和5年度の文通実施延回数は約690回であった。
令和5年度は、新たに14組の子どもと会員が文通を始め、卒業や退所等により7組が文通を終了した。

- 2) 文通した児童養護施設は次のとおり。

札幌南藻園、興正学園、柏葉荘、ふくじゅ園、天使の園、櫻ヶ丘学園
(以下、「児童養護施設」と言う。)

※ 令和6年3月31日現在の文通児童数は56人、文通会員数は48人

- 3) 文通会員のつどいを次のとおり開催した。

文通の現状について話し合い、学ぶため、「第48回文通会員のつどい」を、令和5年8月24日(木)、札幌市民ホールで開催した。会員29人、児童養護施設代表6人が参加した。令和5年度は、会員が文通児童の年齢ごとの6グループに分かれ、その年齢ならではの傾向や興味、疑問などを話し合った。最後に、総括発表を行い成果を分かち合った。なお、その内容を「心の里親しんぶん第236号(4面)」に掲載した。

2 施設訪問事業

児童養護施設が主催する行事に参加し、子どもたちと交流し、その育成に寄与するために「施設訪問」を行った。実施内容は次のとおり。

- 1) 札幌南藻園(1日間 1人)
卒園・卒業生激励会 3月9日 1人
- 2) 興正学園(3日間 38人)
新入学児童を祝う会 5月20日 9人
興正フェスタ 9月9日 25人、新しい出発を祝う会 3月17日 4人
- 3) 柏葉荘(1日間 7人)
柏葉まつり 9月2日 7人
- 4) 天使の園(2日間 8人)
交流会・メモリアルデー 11月23日 4人、卒園退園式 3月20日 4人
- 5) 櫻ヶ丘学園(1日間 20人)
奨学金授与式・交流会 7月15日 20人

3 家庭実習事業

令和5年度は、文通会員宅に文通児童が宿泊して行う家庭実習は行わなかった。

4 新しい出発を励ます会事業

文通から始まる当法人の支援活動は、奨学金給与や施設訪問活動等を行い、高等学校卒業で終了する。児童養護施設を卒園し就職・進学する子ども（卒業の日まで、この法人の奨学生であった者）を対象に、「新しい出発を励ます会」を開催した。児童のこれまでの苦労と努力を労い、新しい門出を祝福・激励した。内容等は次のとおり。

- 1) 開催 令和6年2月17日(土)、札幌サンプラザ
- 2) 参加 卒業生28人(卒業生全員出席)、来賓・施設関係者・会員等47人
- 3) 内容 来賓祝辞、文通していた卒業生と文通会員とのエピソード紹介
卒業生の今後の進路や決意の発表、卒業生代表の謝辞
- 4) 贈呈 新生活を始めるに当たり必要な品物を、当法人・企業・個人から贈呈した。
(ストッキング、靴下、バスタオル、ハンドタオル、爪切り、
歯磨きセット、飲料等)

5 小学校入学祝寄贈事業

児童養護施設に在籍中で、令和6年4月から小学校1年生に就学する児童に、通学に必要な品物を2月27日に次のとおり寄贈した。

- 1) 寄贈品 通学用の靴、筆入れ、鉛筆、消しゴム、靴下、ハンドタオル
- 2) 寄贈先 札幌南藻園4人、興正学園2人、羊ヶ丘養護園3人、柏葉荘4人、
天使の園1人、櫻ヶ丘学園2人 合計16人、(ふくじゅ園は入学者なし)

6 クリスマスプレゼント寄贈事業

令和5年度は、クリスマスの頃、児童養護施設の子どもたちに生活用品を寄贈するこの事業は行わなかった。

7 展覧会事業

児童養護施設の子どもたちが、展覧会に出品する作品制作に努力し、或いは、作文を書きいろいろなことを見つめるなど、展覧会事業参加を通じ子どもたちが成長する機会を与えることを目的としてこの事業を行う。併せて、展覧会で大勢の方に子どもの作品を観て頂き、児童福祉や子どもの教育について、改めて考えて頂く機会になることを期待しこの事業を行う。令和5年度は次のとおり行った。

1) 募集と応募

令和5年8月、児童養護施設に対し「絵画展及び書道展並びに作文コンクール」の開催を知らせ、出品を勧めたところ次のとおり応募があった。

①絵画展 77人 ②書道展 40人 ③作文コンクール 13人

2) 審査会を開催し優秀作品を選考した。審査員と審査内容は次のとおり。

- ①絵画展 令和5年10月3日(火)開催。 審査員 阿部 宏行 氏
優秀作品16点を選考
- ②書道展 令和5年10月4日(水)開催。 審査員 大上 凌胡 氏
優秀作品12点を選考
- ③作文コンクール 審査員 渡邊 知樹 氏
優秀作品3点を選考

選考理由を、展覧会場に掲示した他、「表彰式」で審査員が講評、「心の里親しんぶん第236号」に掲載した。

3) 展覧会開催

次のとおり、絵画・書の展覧会を開催した。

令和5年10月23日(月)～24日(火) 道庁1階 道政広報コーナー(入賞作品)

令和5年11月1日(水)～6日(月) 札幌市地下街オーロラコーナー(全作品)

4) 表彰式開催

優秀作品の表彰式を次のとおり開催した。

① 開催 11月11日(土)、札幌サンプラザ

② 参加 74人(受賞者 28人 来賓、施設関係者、会員他 46人)

③ 内容 表彰、お祝いの言葉、入賞者代表の言葉、第一席作文朗読、

④ 入賞者に賞状と楯を、選外の子どもには賞状を、そして応募者全員に参加賞(絵の具、筆、原稿用紙、菓子、飲料等)を出賞した。

8 広報事業

1) 心の里親しんぶん発行

①発行期日 235号(7月15日)、236号(1月15日)

②発行部数 各号とも1,300部

③主な内容 実施した事業の報告、法人からのお知らせなど

④配布先 公共施設、支援者、他

2) ホームページ

①内容 法人紹介、活動報告、情報公開、

②更新状況 7月 5日 年間予定を変更

令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度事業計画・収支予算を公開

9月 8日 心の里親フェア開催のお知らせを公開

10月13日 児童絵画展・書道展開催のお知らせを公開

9 心の里親フェア開催事業

児童養護施設を対象に行っている活動を知らせ、支援を求める目的で、次のとおりこの事業を開催した。

1) 開催 9月23日(土)、午前11時～12時 札幌市民ホール会議室

2) 内容 展示、手作り品販売、心の里親しんぶん等の配布、

3) 参加 来客等含め約150人

10 活動報告会事業

当法人の令和5年の活動を報告し、意見交換を行った。

1) 開催 令和6年1月25日(木)、札幌サンプラザ

2) 対象 当法人の支援者、当法人の活動に関心がある一般の方

3) 内容 ①活動報告 令和5年事業概要、法人設立経緯、文通事業とピアガーデン事業を個別にスライドで報告

②交流会 昼食を兼ね、出席者が意見交換や交流を行った

4) 参加 58人

1 1 奨学金給与事業

児童養護施設で生活し、高等学校等で修学する子どもたちに、奨学金を給与した。修学にかかる経済的負担を軽減し、勉強や部活に励み、将来を担う立派な社会人になることを願い、次のとおり行った。

- 1) 募集 令和5年3月14日、児童養護施設代表に令和5年度奨学生の募集について説明し応募要領と応募に必要な書類を配布した。
- 2) 選考 6月5日(月)、奨学生選考委員会を開催、書類審査により応募者107人を理事会に推薦した。
- 3) 選考委員 委員長 梅村 武仁 氏、副委員長 林 智子 氏、委員 堂垣内 信子 氏
- 4) 認定と通知 6月7日(水)「令和5年度第2回理事会」で、奨学生応募者107人を令和5年度奨学生として承認し、その旨を通知した。
- 5) 奨学生 学校は、全日制58人、定時制2人、高等養護学校34人、
通信制・単位制13人
学年別は、1学年49人、2学年30人、3学年28人、
(但し、以上の人数には、前年度も奨学生であり、引き続き更新し奨学生になった者を含む。)
- 6) 奨学生認定式・奨学金授与式開催
 - ①開催 6月17日(土)札幌市民ホール
 - ②参加 初めて奨学生になった札幌市内と北広島市の児童養護施設の奨学生(42人)
 - ③内容 会長訓示、奨学生選考委員長挨拶、奨学生認定書交付、
今年度の奨学金の給与
 - ④櫻ヶ丘学園(仁木町銀山)は、7月15日(土)に当学園で開催
- 7) 辞退
児童養護施設から退所等により、次のとおり辞退があった。
6月2人、8月1人、9月1人、11月3人、12月2人、1月3人(合計12人)
- 8) 給与 奨学金(年間1人3万円)を一回で給与。
 - ① 給与日 6月17日(86人)、7月15日(櫻ヶ丘学園 20人)
給与人数106人

収 1 前売券販売

この法人への支援をお願いするため、この事業を行った。

- 1) 内容 「福祉協賛札幌夏祭り大通ビアガーデン」の前売券販売活動
- 2) 期間 6月1日から8月16日まで
- 3) 対象 個人、団体、企業

(参考)

全事業の活動延人数と活動延時間(支部活動報告より)

公益事業	1,111人	2213.5時間
収益事業	55人	126.5時間